

以下は、ハガキタイプのアンケートで、記入欄に記入されていた意見等です。

2 「こうち山の日」が制定されたらどんなことをしてみたいですか？下記から選んでください。 その他（具体的にお書きください）

意見
その日が日曜日の場合には、持ち山の手入れ等に参加したい。
身近な山の現状をグループ編成し、登山でなくハイキングの軽い気持ちで登ってみたい。
水を守る為の針葉樹の植林場所など現地を見てみたい。
流しそうめん（竹を切る所から自分たちで）。
県全体で山の日が定着したのちには、地域毎の実状にあわせて ~ 等のメニューを提案し、市民が地域とメニューから選択する、というのは可能でしょうか？。
山の上流の水を飲んでみたいです。山の魚を釣りたい、釣り方を教えて欲しい。
植樹ツアー。
植樹。
山の仕事をする日として参加者を集める。
所有する山の手入れ。
遊歩道を歩く（高齢化社会なのでなだらかな道）。
公務員は全員山の体験をさせる。山の生活を体験させる。
長い年月持ち山に入っていないので、手入れを始めてみたいと思います。
もみじ狩り。
親子で楽しめるレクリエーション。
昆虫採集、植物採集。
清掃（ゴミ拾い）。
体力的にボランティアがちょっときついみたいですが、できる事があれば参加したい。
我が家の庭木の手入れをしてやりたい。
県の林業事務所単位（ブロック等）で実施が良いかどうか。上記の内容ぐらいであろうが、レクリエーション的より体験的なものを。
植樹。最近の山は木を伐ったあとに何もしていない（国有林も民有林も）。確かに山はみどり色になっていますが森林にはなっていませんので。
子供に林業作業体験をしてもらいたい。
ロッククライミング。
炭焼き実習。
ゴールデンウィークに家族と一緒に新緑を感じ体験しながら持ち山の手入れ、知人などと（バーベキューなども）。
高知市近郊の手近な里山を散策からゴミ拾いから歩いたり、子供達が気軽に遊びに行けるように整備できたらいいですね。
木登り大会、こっぴで作るおもちゃ大会、川遊び（川は森がつくるんだ）。平成14年夏の魚梁瀬でのキャンプは1年経った今でも子供が目を輝かせて語ります、大切な宝物です。
下草刈り。
ゴミ問題。清掃登山。
持ち山の視察。
公共事業で消えていく植物の移植活動。
子供と山へ行けるようなイベントがあるとうれしいです。
登山道。

ドングリ拾い。高松のドングリ銀行のイベントと同じような教室を開いて欲しいです。
登山道の道標整備。
落葉樹植樹。
登山と併せて植物の個体数、分布を調査する。
人工林を減らし自然林を植樹したい。
最近登山客が毎年増えていく一方で、国・市まかせではなく自分達も意識改革が必要。山が荒らされ、山野草がなくなる一方です。もっと山を学ぶべきです。
森林の持つ機能が失われつつある現在、その機能の周知、森林を守る意識の醸成。
小学生の環境学習を県下で組んでどうか、父兄もいれて。県でやるものは小さい。全県で大きいイベントを沢山に。
山を大切にすることを養う講演会とかシンポジウム。
山菜やキノコ類の種類を教えてください。
木に関するイベントなど。
自分がこれをしたとは思わないが、やるのであれば「森林環境学習」か「森林浴 登山」などで山に親しんでもらうような活動がよいと思う。
樹木の名付け、キャンプ、森林浴、植樹等。
年1回でもいいですが、皆さんに山について話を聞く、水との関係など勉強してほしい。
高山植物等の観察会、野鳥・野生動物の勉強会。
木造住宅フェア、木製家具フェア、子供木工教室、手作り木工コンテストetc。
木製品（家具）作り等を期待。
木工製品市などを開いて木材の需要の拡大を考える。
木工工作イベント。
ホテルなどで高知の木でつくった箸を出す。高知の山の木の使い方（割り箸、紙皿、ハガキ、乾燥材、ノート、カレンダー、コースター）。
高知で盛んな木製品の工場なんかを見学してみたい。
木を使った彫刻、木工細工。
間伐材を使ったチェーンソーでのハンドカットで物作り。
間伐材を利用した木工製品の製作。
間伐材利用の山丸太小屋作りの夢。
山にある流木又は株とかでアクセサリーを作ることをしてはどうでしょうか。
山の基地（ツリーハウス・ログハウス等）づくり。
間伐材を使った工芸など。
地域の山々に保水力を持たせよう。保水力を取り戻すための活動が必要。同時に他の地域の人々と活動を通しての親交も大事。
山村と下流域（水辺）の交流。
緑の美しさを伝えたい。
都市との交流は現在年間1回程度やっています。
山村との交流会。
山間部でお祭りをする。外国へ行かない。危険の少ない山に登ること。
多くの人を山村に呼びたい。交流や自然体験など。
みかん狩り。
山菜採り、紅葉狩り、キノコ狩り。
キノコ採集の仕方を習いたい。薪ストーブの薪をつくる。炭焼きバーベキューとか。
キノコ採り、松茸、シメジ、ネズミタケ、トガタケ、ベニタケ、モミタケ等。
たき火して山菜やキノコ料理を楽しむ。
山菜採り等の行事。

山の幸グルメ会。
キノコ狩り(専門家のガイドで)。
山の恵みを食する会。
木を育て森林(山)を守ることが大事だと解っていても具体的に何をしたいのか解らない。山をもっと身近に感じるために何が出来るか、山菜採りや草花の観察など様々な施策を考えるべきでは?。
山の幸(キノコ、タケノコ等)の販売等あれば買ってみたい。
キノコ狩り、山菜狩り。
県民の祝日として欲しい。唄をつくって欲しい。
森林、山に親しむ休養日にする。
ゆっくり休みたい。
休日になるならボランティア活動も良いと思う。
県民の休日とする。
休日にしてほしい。
人家の廻り100~200m四方には植林はしないように、先では人間は住めない?。
ふるさとの山の写真展とかどうですか。
橋本知事と落ち葉で焼き芋をしてみたい。
持ち山がわからないため。
持ち山の人工林を削減したい。
高齢者に元気を。その為には行政から働きかけをして欲しい。
良い山。良い木。
失業率5.4%などと聞きますが、行政として山の育成に力を入れる仕事など、実行に移せないもののでしょうか。
主人の山関係の仕事で四国内を渡り歩いています。どうして国産材が高くて外材が安いのか、日本の商社が関係していることなど新聞が取り上げて皆に学習してもらいたいです。
自然な山で遊べる所をつくって欲しい。
山で遊べる空間があればよい。
高齢者にはお手伝いしたくても身体がついていきません。でも少しの寄付ならできますので・・・。
作業道開設、大正町方式。山を痛めない。
山の日の制定は良いことです。世界有数の森林国、山の資源を活かして環境にやさしい生き方を求めたい。
いつも思ってることだが例えば1haあたり20~30%は広葉樹林にする法的措置(国有林から見本をつくる)。それによって動植物、渡り鳥、留鳥の場をつくる。山を市場経済主義ばかりでみてはいけない。
山林荒廃原因の究明と対策。
町の友達も一緒にできることを考える。
山を持ってないので登るか、何かの催しに参加することになると思う。
森を愛して育成に心がける。
環境についての取り組みが一番必要と思っている。
林道の整備。
あまり関心がない。
持ち山の木ができるだけ売れて、多くの人に家を建ててほしい。
仁淀川上流域、四万十川上流域での集中的な間伐。

3 「こうち山の日」の活動を盛り上げていくために、他にアイデアやご意見がありましたらお書きください。

意見
こうち山の88カ所制、マップ、88カ所めぐり、何々が叶う祠づくり。
小冊子やパンフレット作成。山の88カ所や百景等でスタンプラリー。写真展等イベント。
広報活動をよくしてもらって情報をもらいたい。
山林の持つ役割や機能をもっと具体的にPRすべきである。都市部で生活している人は認識が少なく感じます。
水源涵養税の活用状況を具体的に県民に示し、間伐や針葉樹植林に県民(地元の方々)の参加出来る取り組みを望む(地域住民と一体となった事業としたい)。
若い世代への理解を求める。
山に関するクイズとかイベントの開催とかしていったらいいと思う。(みんなに知ってもらえるように)
山の日的重要性を知ってもらうため高知市で子供から老人まで参加できるイベントの開催。(例)木工教室、かずらあみ、まげわっぱ、あじろあみ、山師達人選手権、高性能林業機械による協議等。
人文字を写真で撮って全国にアピールすれば良いと思います。
森林への理解を深めるためにも、まず山を知ってもらうイベントを多くもらいたい。
間伐材を利用した加工品をPRして山の日を盛り上げて欲しい。
マスコミ等を利用して県民に周知を図る。
県産木の積極的な紹介。
若者に興味がないのですが、どうしたら興味を持つようになるか。山林もこのままではかわいそう。
大事な山の役割を若い人達に解ってもらえる学習の場にして下さい。自然保持のためにも。
山の大切さは、次第に忘れられつつあるようです。解りやすいビデオなどをつくって配布、あるいは貸し出しできるようにして欲しい。
まず森林環境税を広く周知する。
県民への周知。山に親しむ行事を行う。パンフレットはあまり必要ないと思う。
林道の新設や間伐など山に手を入れたいのですが、補助金のわかりやすい説明や指導のPRをもっとしてもらいたい。
多くの人に造林山の実態、歴史を知り理解してもらうことで国産材への感心を高めてもらい、林業の活性化につながればよい。
村や地域を挙げての人々の総参加。市町村の人々への呼びかけが大切だと思います。
山で生きることの楽しさをみんなに伝えてください。
林業関係者をいくら集めても無意味。都市に住んでいる人達を引き出すことが肝要。県のやる中央で大人達のイベントは無意味。全県下で小さい単位で沢山やる方向としてください。一般の人を集めよう。
山に関してのイベントを毎年やる必要がある。山の保全啓発活動、PR等も。
何かもっと県民にPRできるイベント等を全域的に行っては？。
森林の多面的機能、間伐材の利用等のPR。
高知の「木」BOOK、苗木が当たるクイズ等。
「木」でできた「森」の本を作って欲しい。
橋本知事が間伐しているところをテレビ放映する。
都会の人達には山のありがたさをもっと知ってほしいと思います。
イベント、森や木に関するクイズやウォークラリーをすればよい。
山は楽しい所だということを皆にわかってもらいたい。
水の涵養の大切さをHPやリーフでPR。
森林会館といったものをつくってみてはどうでしょうか。PRの場としてもいいのではないかと思います。
高知の山を紹介するパンフレット等つくってほしい。手軽に家族で行ける場所やイベントなどわかりやすいものを作ってほしいです。
山についての問題意識が県民全般に広がるように新聞、テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用して大々的に発信事業を行う。

知事が10月下旬にPRを兼ねてCMしたらどうか。

森や山に関するイベントの情報をもっと一般人に向けて発信した方が良いのでは？。現状では少ないような気がします。

具体的な計画内容を幅広く県民に知らせてほしい。解りやすく、絵入りで・・・。

新緑の4月～5月は、山は気持ちよいので、是非まわりの人にも知ってもらいたいので是非アピールをするべきでは、

山岳ガイドが欲しい。

山の持ち主はもちろんの事、県民みんなで森を守るよう理解を深めてください。

高知の山マップを作る。

山村生活、活動のテレビでの紹介番組の拡充。

川下の人(都会)に本当に自然、山、水のありがたさを理解し協力してほしい。環境税などゴチゴチ言わずに・・・。

こうち山の日には森林の大切さについての広告。

若い世代の方に、もっと知ってもらいと良いと思います。山村の方々ととの交流などはとても興味深く楽しそう。

登山の道案内図の作成。

出来るだけ多くの山(森林)の現状を見てもらう(企画)計画して、実感してもらうこと。

山の保全の大切さについて、一般にはマスコミの協力を得て、更に周知を図り、児童、生徒には授業や催しごとにて交流などの体験学習により、着実に育んで行く。

遊歩道マップ制作。

もっと皆が山に興味を持たせることが、まず一番だと思う。

森林機能の浄化作用など具体的な数字を出し環境を訴える。

安芸市森林組合等が実施するブナの原生林へのバスツアー等を事務局も実施しては？。

山で子供達が遊べるイベントを企画してください。

イベントを各市町村の持ち回りで実施してほしい。遠いと行きにくいので。

住民の日が参加できるとなると、やはり土日になると思います。だから、土日に山の日になんてイベントやフォーラムを開催しみんなで楽しみながら山の日を意識できるようにしたいと思っています。山村部の市町村の協力を得て地場産品等を活かしたイベントがあれば最高です。

高い山へ登り状況等説明をするイベント。山は時々変化するので面白い。

多くの県民が参加できる企画を。

自然に対して感謝の行事ほか。

森林公園で「山の日」イベントを開催する。

森林の中にあるような公園などで静かな森林コンサートなど。

一過性のイベントでなく、定着する事業の展開を・・・。

イベントをする。

市町村単位でイベント等やるのか？。ブロック単位でやるのか？。最初のイベントは河川の漁協、海の漁協等含め幅広く参加してもらってはどうか。

山の産物、恵みの多い春、秋にイベントを行う。

山の産物や木の加工品等の販売を兼ねたイベントを行ってはどうか。

高知県各地域で活動(例えば登山にしても高知周辺だけでなく)を行ってほしい。

サバイバルゲーム大会。

年に1回程度、各市町村主催で森林公園やそれに準ずる場所で歩いて登る等山とのかかわりの行事を開催する。

多くの人に参加できるような活動にしてほしい。

いろいろ行事をするのは良いが、場所が高知市内以外であったりした時、参加したくても車がない者は参加できないことがあるので、このような事も考慮してもらいたいです。

町から山に行きイベントをつくる。

山の日が決定したら町の中心部ほかあらゆる場所で、山、森、木に関するイベントを行い県内外にアピールしていく。

一時的に盛り上がるイベントはやめて、長続きする事業を取り組んでください。

森林インストラクターの養成、ミニ講習会の開催や、サブ森林インストラクターの養成、研修会のイベントetc

<p>年一回県内の中山間地の市町村で持ち回りのイベント、シンポジウムの開催をしてはどうでしょうか。</p> <p>山についてのイベント(ハイキング等)をしてはどうでしょうか。</p> <p>CWニ科尔さんの森に関するお話に感動したことがあります。高知にも馴染みのある同氏をお招きできる企画があればと思います。又、映画「ロビンフット」にあるような基地があれば楽しいのではないのでしょうか。校区ごとなどで、子供達とそんな基地を築き、親しみを持ってもらい、そんな森を大人が守って、森の恩恵に感謝していけるような一度きりでない催しがあればいいと思います。</p> <p>「木と人・あい館」館長さんの講演会。ログハウス生活体験(3日～2週間)。</p> <p>シンポジウムとして他県への働きかけなど。</p> <p>海山をからめてトライアスロンなんてのはどうでしょう?。高知、海というイメージが強いので、山のみだけでなく海と山を両方アピール出来るようにしていくのはどうでしょう。</p> <p>山でイベントをおこなう。出店を出す。ビールを1,000円くらいで飲み放題。バーベキューセットを貸し出してバーベキュー。</p> <p>有名人、有名団体を招待して、イベントをする。</p> <p>サークル等をつくり、バーベキューとか何かイベントがあっらしいと思います。</p> <p>山を介したイベントの開催。</p> <p>アーティストを呼んでコンサートをやる。木製品、木の家の展示会をやる。コンクール(木にちなんだアート作品)をやる。</p> <p>ダッシュ村的モデル(森林、山)を皆でつくりあげていく。</p> <p>インストラクターの養成 イベントにつなげる。</p> <p>市町村又は流域単位(河川単位)等で住民に意識づけのできるイベント等の開催。</p> <p>県内のあらゆる山で一斉にイベントをする。工石山(青少年の家)、横倉山(自然の森博物館)、天狗高原(国民宿舎)、明神山(スカイパーク)etc。県民みんなで山に親しむ。</p> <p>山岳地図、登山道の整備をしつつ、山の大切さを理解してもらう。</p> <p>広葉樹林の重要さをPRしていくべきであり、小学生及び保護者を通じて社会的啓発を実施してはどうでしょうか。</p> <p>学校との連携。</p> <p>山の持つ役割を再認識するため、子供、児童をはじめ高齢者まで体験学習の実施。</p> <p>子供たちへの積極的なはたらきかけが必要。学習と体験(現地でのいろいろな活動を通して)。</p> <p>楽しく森の大切さを勉強できるような・・・登山をしながらとか。森の大切さを子供のときから教えたいですね。</p> <p>山村との交流会で体験を深め環境学習を進めるとともに林業作業体験により体感的学習を重ねる。</p> <p>小中学生等、山林等の果たしている役割についてもっと知ってもらいたい。</p> <p>森林・林業の現役から退いた人々の助けを得て、幼児、児童、生徒、学生に教える。まず部落、地区から立ち上げる事が肝要。そして村町市郡県下の順序で。</p> <p>子供の頃から山や森林の働きや効用について感心を持たせる事が大切だと思います。学校教育の一環としても取り上げてください。</p> <p>自分達の生活の中で森林がどのようになっているのか、山と海とのつながりなど小さな子供達にもわかるパンフレット、本などがあったら話して自然に対する事をいっぱい知っていきたいと思います。</p> <p>山村、都市、漁業等のシンポジウム等学習会。</p> <p>山の日前後1週間くらいをキャンペーン期間として、学習的、保護的意味合いの強いイベントを開催してはどうでしょうか。</p> <p>これからの子供達に学習の中でも教えていく(土日の休みに)。</p> <p>学校などで屋外活動を全県下的に行ったらどうでしょうか。</p> <p>学校で子供達に「山のありがたさ」「大切さ」を教えてもらいたい。また社会教育の面でも青少年に是非とも「山の日」の理解ができるように配慮してほしい。</p> <p>森林環境学習は山の日だけのイベントでなく常に定期的イベントとして、学生や、社会人対象で行ってはどうでしょうか。</p> <p>高知市内から遊びに来て山へゴミを残して行く人がいっぱいいるので、市内の人に山の環境学習をしてもらいたい。</p> <p>木や花草の名前を覚えたいと思います。木の名札をもっと沢山表示して下さるとうれしいです。工石山の係りの方へお願いします。</p> <p>植樹「県民1本運動」を制定し、県民1人1人に緑の大切さ環境問題等を認識してもらう。</p> <p>子供達に自然の森の中でレクリエーションを通し森林の役割を知っていただく。又、毎年地域を変えながら、地域の学校(教育委員会の支援)を中心に行事の企画運営をさせながら、子供達に関わってってもらうような日に。大人達も参加。</p> <p>やはり将来を担う小中学生に山の大切さを日常の教育の場でしっかり教えること。そのひとつとして「山の日行事」に参加させるようにする。</p>
--

幼稚園児、低学年児童を山の中でキャンプさせたり、自然体験でなくてはできない体験教育をする。
子供に親しめる山、したがって道、僕たちの山、私達の川。
小中高校生達年1回くらいは山へ出かけて自然学習が出来るよう取り組みをしてはどうでしょう。山で仕事をしている人達に缶やビン等捨てないよう方法を考えること。
学校で山、山林の大切さを教える。
川を見る知る企画は山へ行き着くと思います。山の生命の奥深さを学びたい。
学習会等で学び植林等ボランティア活動推進に行けば？。
木の名前を覚えたり、木に名札をつける事で親しみやすくなると思う。親子で家族で木工品をつくってみる事もいいことだと思います。
林業立村での長期宿泊体験学習。
小中高大学の地域の山への授業として林業体験を段階的に(体力、知力)とりいれていったらいいと思います。
山の大切さ、木について、若い方にも学習、学校、山を大切に、森林消火訓練等も、森林浴で身体が元気になることを教えてやってください。
小中学生の間伐等の体験。都会の小中校生の山村一時留学。
植林、里山の保存、小学生対象の雑木林の探検など。
山の日を挟んで地球環境を考える展示や講演会を開催。間伐材を使った家族でできるイベント。
小中高の総合的学習で、山、川、海を統括的に取り扱うカリキュラムのモデルをつくる。学年段階別にまた地域別に。
小学生の課外学習の一環として、3日～1週間程度の山生活を全小学校で導入する。
森林環境学習を活発に推進したい。
見頃の植物などを広く教えてくれると行ってみたいかな。
薬草採取し効能についての勉強会。
自宅近くの場所なら、間伐などの自主的なボランティア活動にも参加したい。
森林インストラクター等の力も借り、町の家族連れに野山の自然や木材に接してもらいたいイベントがあれば村民としてボランティア参加を行いたい。
ボランティア活動で、村有林の間伐(巻き枯らし間伐も含めて)を分館単位で実施したらよい。
山 川 海の関連した行事。河川、海岸の清掃作業。
登山やハイキングなどのイベントがあるといいと思います。
間伐などの作業に地域で参加し、行事として活動する。
自然の実を採る大会等を開催しては。
海の日が休日であり、山の日も休みにし、各市町村持ち回りでイベントを開催してはどうでしょうか。
休日(祝日)にする。
休日にするのはどうでしょう。国民休暇県でもあることですし…。
県民の休暇とする。それにより山の行事等の参加者が多くなる。
国民の休日にしてほしい。
県民の休日として、全国初で独自に休みの日に指定してください。(全国では、ウィークデーであるが、高知では独自に休日にする)
こうち山の日が県民の祝日にする。
水源涵養や自然保護 etc 果たす役割は非常に大きい。国民の祝日にして深く認識すべき。
祭日とする。
高知県単独の休日とする。
海の日があるのに、山の日がないのは少々辛い。山の日があればなかなか良い活動ができるのでは?。県民の休日を…。
祭日にする。
全国に広げ祝日にする。
国民の休日にしてほしい。
その日は祝日にして、みんなで山のことを考える。
海の日のように、山の日として国民の休日とするようにする。

当日を休日もしくは県民参加の日と設定し、山が基本ですが、海、川などの清掃を試みてはいかがでしょうか？。
休日にしてください。
国民の休日として「山の日」の制定、4月30日を望みます。
こうち山の日を休日にしたら良い。
休日にして欲しい。
休日にして欲しい。
こうち山の日を休みにする。
休日にする。多くの人が山で森林浴を楽しむことができるため。
民間・行政の業務を休業として、「こうち山の日」の企画するイベント等へ参加させる。
休日にする。そうすると山にも行けます。
休日にしてください。
山村と都市住民の交流。
山の現実をもっと知ってもらいたい。川下の方々に、山の現実を実感していただきたい。
県内各市町村が自慢の里山を選び高知県里山54選として、山の日にその山で各種イベントを開催する。また里山間での交流事業日とする。
都市との交流できるイベント。
山の役割や大切さと学ぶ機会の充実や海とのつながりを学ぶ互いの地域の交流学習事業などの実施。
山間地の状況を知ってもらう取り組み。
海や川で働いている人と山で働いている人との交流をする。チームをつくって秘密基地をつくる。
若者との交流などが良いと思う。山をどう思っているのかなど聞きたいと思うので。
流域、地域ごとに山村、農村、漁村との交流会を開催することによって山の保全活動の重要性を社会一般に広める。
村をアピールするように交流をしてください。
今、山というものを知らない都会に住む若者達を積極的に山に住んでいる老人の方との交流をする等。
高知県の人は山菜が好きなので食べられる山菜の種類や料理法を紹介したパンフレット(キノコなどもいれんじやないでしょうか)をつくる。
山に採れる山菜とか、キノコ類(シイタケを含む)。料理の実演とかおいしい水を飲むとかして実感する。
5/26の高新に放置竹林が取り上げられ日も射さない、向こうも見えない竹林、想像以上で驚きました。地主の協力を得て春にはタケノコ掘りを自由にしてもらうとか、春は山火事だけには注意してもらって、元から断つ方法も考えてはどうでしょうか。
山の幸グルメ会をしてください。本格的なアスレチック場をつくる。
山の幸の販売会。
森林環境税の使い方を明確にすること。
ボランティアではなく森林環境税を使い森林組合の人を雇用して山の手入れをしてもらう。持ち山の手入れも安ければ森林組合の人に頼みたいと思う。積極的に動けば雇用にもつながると思う。
税金はあまり歓迎できません。
新しい税を課したのだから不審な行事などはしないで、間伐等、実効あるものに使用するほうが良い。また、この税の用途を明確に公開すること。
森林環境保全事業は良い事と思うが、他方で山林の破壊が起きているが、それも法により(山林 採石)、なにか法が信じられないように思う。自分としては川を海を木を守って行く森だと思いが。
森林環境税の具体的な活用方法が解らない。
税金の無駄使いになることのないよう、有意義な「山の日」の制定を願います。公務員的な発送ではなく、遊び心あふれるものを希望します。
民有林について、山を守るため広葉樹林化等を希望する場合には、森林環境税により行政で実施できるような制度を創設すべきでは(環境保全と雇用創出面での効果が見込める)。
森林環境税を大幅にアップしてもOK。山への支援を。国民の意識を山に。

地域地域で見晴らしの良い所を指定し自分の集落のみえる所、近くの集落をみる所、気楽に登れるところがあれば、健康のためにも良いと思います。
荒廃森林について行政の手で森林公園などを整備して住民の癒しの場とする。
山に都市部の人が入りやすいように、キャンプ場や道の整備をする。
登山道までの車道の整備をして欲しい。
道路開設、環境整備。
自然を生かした公園やキャンプ場(バーベキューなどできるちょっとしたスペースがほしい)があったらいいな。
登山道の入り口に入山者より一定の金額(入金箱)を入れてもらい、登山道の整備等の役に立てたら。
山の自然を生かした子供達の遊べる場所をつくってほしいな。
自然の中で遊べるような公園。木を使った遊具を作ってほしい。
森林を利用したアスレチックをたくさんつくる。
山村に親しめる散策道の整備。
森林の入山を多くし、山の手入れを行うため、作業道や林道開設への予算を重点配分する。
林道の整備。
日常生活の中で山に親しむ習慣が、出来るように身近なところにある山に散策道のようなものを多く作ってはどうか。
間伐作業道新設及び環境道の整備等。
軽い登山コース等をつくる。
作業道のない山が多く間伐に支障をきたしているが、意欲のある山主には優先して作業道をつけてほしい。山が点在しているが、道がない箇所があり間伐は難しい。
登山道や林道の整備充実をお願いします。
今学校が土日と休みですので是非親と子の交流で森をみなおす取り組みをやったり、高齢者の方に参加してもらって林業作業の体験等をやってみたらと思います。
親子でできる事があればいいと思います。
山の中での催しを行い、森林とふれあう機会があれば良いと思う。
市でバスを借り上げて黒滝へ行く
山の公共施設(南国市では「せいらん」)等へ泊まって過ごす。
間伐など林業作業等ボランティア活動。
植樹に行きたい。
新緑の頃、藤の花と共に県道沿いの美しさ、皆に見に来て自然への理解、木の大切さを解って頂き、山頂へと登山もして山の良さも大切さも解ってもらえたらと思います。紅葉も又素晴らしいです。どんぐり銀行等で植樹も行われていますが、以前ダム湖の湖畔へブナを植えたのですが、植えっぱなしで後の手入れが全然ほったらかしです。一日だけの活動でなく生き物なので、後の世話も続けるべきだと思います。
ワンダーフォーゲル愛好会を発足させ、里山を歩き自然を満喫し緑豊かな古里を未来に残すため、植樹ツアーを兼ねた活動をしてほしいと思います。
山村留学。1泊2日or2泊3日程度で体験学習をしてみたい。
1年生に自分の木を植えてもらい本人と木の生長比べをさせたいですね。各市町村で…。
広葉樹を植える。
県有林へ出向き手入れする。
桜を植えたり広葉樹が少ない(手入れの入っていない山って感じがする)。
登山(集団イベント的)。
ターザン遊びをしたり山小屋で寝たり、自然の木々を使っての物づくり、シバすべり、薪を使ってのご飯たきをしたり、子供達と大人と一緒に食べたり遊ぶこと。
里山の手入れ、草刈り、雑木林の手入れをし炭焼き、竹林の手入れ、竹の利用。
小中高の体験林業。
四国の他県にも呼びかけ行事に参加してもらおう。高知の水の恩恵を受けていることを十分認識してもらおう。
足の不自由な人が登山し、山に親しめる企画、車椅子等でも登山できる山があればいいなと思う。
山の手入れ。水源を守る。

市内3カ所くらいバスを出し現地に連れて行く子供、大人、経験者に活動してもらい楽しみながら手入れする。

県内に「こうち山の日」をいくつかつくり、山小屋を建てるなどし県民が入って(泊まれたら)山の作業などに携われるようにする。炭焼き、広葉樹の植林、椎茸の栽培、山では電気を使わない、障害者と共に関わらせる。ぼーっとするのもよい。

ロッククライミング体験教室。年寄りくさいのには、若者は行かないよ。

子供達と『旧山の日ツアー』のような催しで、山の木の大切さを知ってもらう。

山の手入れ作業に多くの人に参加してもらえるようにしてはどうでしょう。

登山やハイキング等の山に親しむ行事を主催、促進し、山の価値を学ぶ機会を多くもつことが大切と思う。

植樹祭。

森林の手入れをもっとやるべきである。

毎年こうち山の日に記念樹を植える。

山菜をつみに行っても 都会の人は・・・となります。気持ちはあっても親しむ方法を知らない人が多いので、間伐ツアーとか林業作業ツアーとか、参加者から授業料として料金を集めてそれを基金として山の保全費にしても良いのではないのでしょうか。

桜やモミジ等を植樹してイベントが出来る山をあちこちに作ったらどうでしょうか。

山の手入れ、ツツジ、桜を植えてきれいにする。

街の子供達に山里生活を体験させて山の大切さを教える。木の良さをアピールし木材の消費拡大をはかり、林業の活性化を推進する。

山の現状を見るツアーを行う。

山を使つてのアート、クマやトトロ風の山、一つ一つの山に同じ木を植える。(サクラやモミジ)

ハイキング等、イベントをしてみてもどうでしょう?。植樹をするとか?。

単なるイベント(植樹とか)ではなく、今よりもっと状態として山がよくなることをしてほしい。動物や鳥、川の魚や虫もひっくるめての山が大切という意識が、子供と大人に伝わるようになれば、きっかけになれば、よいのですが。

山の環境美化運動。例えば清掃登山など、又は植樹祭等。

記念樹の山(植樹)。誕生、成人、結婚、記念に植樹プレート(名前付)。

森の良さを知るために、森、山で楽しむ会をしてほしい(大人向け、子供向け、ファミリー向けに分けて)、山菜狩り、食べる会(見分け方)、ピクニック等。

重装備で山に入り、林業作業体験などをするのも大事だけど、もっと気軽に普段の生活のなかで、山を守るためにできることなどの提言を専門家の方達にしてほしい。

もっと山のことを知ってもらうために、鳥の巣箱をかけたり、山に詳しい人と山林に入り、山菜ツアーをする等、イベントをしてみてもどうでしょうか?。

親子ミニキャンプ。

植樹とかを体験してみたい。

植林をみんなでする。

登山をし植物等自然環境を体験するような団体でのキャンプ活動(間伐なども含めた)を行う。

季節を感じるイベント、家族で参加できる(保育園でも)行事、山を舞台に自然と遊ぶ。

地域ごとに場所を決めて、山の下刈り等を行う(具体的には難しい問題を含んでいるとは思いますが)。

間伐材の利用で木工を習う。

間伐材を使用した家具等を販売するイベント。その場で山の大切さを広報する。

間伐材などを利用し、地域の人々と共に工作する。お祭りを開催して山の問題点や価値を身近に感じるようにする。

家を外材で建てるのではなく、県産材を沢山使った家を建てるように建築業界に協力してもらい県産材の需要拡大を(県・市町村・公的機関の建物等)。ダムの見学もしてみたいですね。

間伐材によるログハウスを造ってみたいので講習会を開いて欲しい。

夏休み宿題向け工作イベントを数カ所できたらよい。

各市町村に木工細工ができるような器具を設置して欲しい。

趣味でも木工指物をしています。文化教室講座などで木彫はあっても指物細工細工等はなぜないのだろう。川上から川下までを考えると川下の活性化が望めます。木材県というならば、この部分に新天地を求めます。

間伐材による工作学習。
切った木や落ち葉、木の実などを使って親子でクリスマスに飾るリースや、紙粘土も使って雪だるま等を作ったりするのもいいのではないのでしょうか。
高知県産木材の家具フェア（最近は合板のものが多いので、全部天然のものがほしいです）。
木をつかった催し、初心者を中心にした登山会、山の写真展。
丸太、木の早切り大会など。
手作り木工品の作品展。
間伐材で小物を作るイベントなど（間伐の必要性とその活用方法）。
木工品を低価格で販売。
木製品を売る。地域で木を植えたりする。
間伐材も有効利用する。材木を売ってある程度の金になる。山を持っていて利益があがるように売る。棄て山にならないようにすると良いです。
木を使って工作できる。又は、そのような体験ができる教室を1日だけ設けてみてはいかがでしょうか。
間伐材の無料配布。杭、風呂木、木製品、ログハウス、犬小屋等、なんにでも利用してください。
木工教室などがいいと思います。
山を管理する人を増やして山を荒らさないようにしてほしい。山の調査を行ってほしい。山菜山野草をもっと増やしてほしい。
住民が山に対する意識を高め、継続して取り組む事が重要で、そのために行政も地域に入り込み同じ視線で必要施策を考えていく事が不可欠だと思います。
山の中腹から上を自然林にしたほうが良いのでは？。
失業対策を意識した間伐組織の編成。
全国規模の広がりを図る。又、森林を守るための資金の創出には外国産材輸入に対する関税？により原資を確保する（ex森林交付税）。ある程度の資金を持ちいなければならない。日本の森林は守れない。
紅葉する木を植えたり、花の咲く木を植えたりして観光スポットを増やしてください。すると、休日に出かける人が増えると思います。
思いつきません。
イラストは馬路村を連想します。それだけ定着させた馬路もすごいとは思いますが、やはり山は県全体にあり「こうち山の日」をせっかく制定するなら全県下あげた日になればと思いますので、このイラストは使わないで欲しいです。（くろしお君がいつものに）
山の保全には興味があります。山も持ってみたいです。ほんの一区画くらいでも自分のがあつたらもっともっと大切にしたりできると思うので、そういう企画が欲しいです。山が大切に80%以上が山と言われても、実際にかかわることがないと、ただ山の多い県の人というだけなので山を持ってる県民になったらかっこいいと思います。
橋本さんが中心ならどうでもよい。
山の日を制定したら、県民あげてその日を山に関するボランティアの日とし、その日一日はそれ以外の事は極力自粛する。
木の苗を配布するなど。
木の家を建てるように推進してほしい。
各種団体との連携。
是非盛大に盛り上げてください。
はやく造ろう。
一般の住民が公有林の間伐材を山土場で入札競売。
村内のまだかなりの山主が間伐の必要性の認識がないので山主を集めて説明会が必要と思う。
山の管理状態をコンクール様式で優秀賞等の贈呈等をおこなう。
森林を汚さない運動。持ち山を手入れしている方は何らかのご褒美を・・・。
植樹（記念日等、(例)入学、就職)。地主が不在村で荒れている森林が多いので1本オーナー制などユニークなたちで荒れを防ぐなど。
制定日を記念して一般の参加を集い身近なところで間伐などのボランティア活動を企画したらどうか。
近傍の森林の手入れが遅れていると思います。
先に発刊された「土佐の水辺」の検察等とあわせた方法もいいのではないのでしょうか。
四万十川の幸の減少は山の変化のためと伺った事があります。落葉樹の大切さ、水を豊かにするのは山を豊かにすることではないのでしょうか。

間伐1回に3割切は台風に倒れる。1回10%の切りでも1/3補助金を出していただきたい。
ピクニック。
国民休暇構想もそうだったが、また最近のスローライフも同様だが、単に呼びかけで終わりがねない。目標を明確にすべきではないか。金の無駄遣いだ。
木材の活用を進める。補助金の増等。
不況で職を失った人達を雇って山を手入れしてもらおうようにしてはどうでしょうか。
自然が残っているとされているけど年々山は姿を消して行ってます。今残る山も整備をし、生き山にし自然と共存しあえる高知県を全国に発信したら良いと思います。
山は好きです。森は大好きです。心がなごみます。「山の日」ありがとう。
県の職員、その他関係者含めて県下各地の山の現状を見てください。
国道近くの山の持ち主は自主的に落葉樹を植林し季節感のある山々にして欲しい。
間伐を徹底する。進んでいない原因は2つ考えられる。不在村地主と林業の価格低迷。これを打破するためには補助制度の拡充を法的整備すること。
子どもは老後の為に植林してきましたが、80歳を過ぎた現在どうすることも出来ず、収入にもならず、税金は徴収されるし大変困ってます。こんな人が他にもいるのではないのでしょうか。山林所有者のうかばれる瀬はないのでしょうか。
森林と水のつながりを知るきっかけづくりになるようなものにしてほしい。
山間部にあるレジャー施設の無料開放(モネの庭等)。森林環境税を県民の目にみえるかたちで活用して頂きたいです。
山を守る、中山間は町のダム、自然を守ろう。
山の花などの無料配布。
林道を走るライダーに山小屋を提供して木々の管理をしてもらう方法。遊び場を与えて林業に感心を持ってもらう。
スギを伐採し雑木林にするとりくみ。
直接山で手伝いができなくても年に1本の植林カンパをしてもらいプレゼントをする。
山がどのように私達の生活と関わっているのを認識してもらうような活動。
標高の高い植林の発育の悪い箇所には広葉樹の植え付けをすればよい。
都会や町等の山林を所有していない人に持たす。
老後になって身近な公園などで森林浴とか登山の出来るようなミニチュアの山があれば(人工的に作る)散歩等も楽しく健康的でよるしいのでは。
国土調査が行われたら関係者の山へのかかわり、又手入れ等も多くなることと思われます。
山の手入れが出来なくなり、ひどい状況になっているのは理解できるが、全くのやまへの素人に間伐などの危険な作業をやらすのは強く反対する。わざわざ税を徴収してまで、山の管理をするのだから、中途半端な作業方法をするよりプロの手にまかせるべきだと思う。
山の日を中心にマウンテンウィークとして他府県からの観光客、客を格安料金で宿泊するようにする。
高知米は森林県(県土の84%強)、中山間を含め山間部の過疎を少しでも元気に活発に交流し新しい開拓魂を育成すること。
応援団づくりも、国+県+民(ボランティア)の一本化が必要。市民の要望の窓口 集中化 プログラムの共有化 指導者派遣といったシステムづくりと内容の豊富かとネットワークづくりが大切。山林への具体的手入れに対する施策が必要。事業者の育成 県内を4~5ブロック毎に1社つくり山に具体的に手を入れていく。行政は人も金も入れていく。
森林浴、登山等の簡易な行事を計画する民間の団体(NPO等)を育成し、小規模な行事を数多く行うようにして欲しい。
何らかの企業の業務と結びつけられないでしょうか？。
設問2で選んだことは積極的に実行して頂きたい。11月1日を選んだのは、このアンケートについていた「県木ヤナセスギ」のイメージイラストが山の日、即ち11月1日で大きく3本見えて地面より山である。今後もこのイラストを色々な面で使用したら良いと思います。奥が暗いので明るくして。
まずは山の楽しみを広げていこうという主旨。
難しい決まりは作らない。活動、行事は早く知らず、集合場所に行く方法をやさしく。
雑木林を増やしたら良い。スギ、ヒノキは家から200m位離して家の近くには植えない様に法律をつくって下さい。田んぼ、柚子畑の近くに植えられたら本当に困ります。シイタケを作って利用している人は仕方がないけど何とかしてください。お願いいたします。税金を取るだけではなく実行してください。
営林署職員のモラル低下の訴え。治水の為に植林など具体的な教育。
各地区へ世話人(代表者)を置き、ブロック毎に話し合い山の日役員が検討する。子供達にも声をかける。パッチをつくる。

香川県が「里山オーナー制度」を創設しているが、県内山村の地域特性を活かしたキノコ、木工、竹細工、花木栽培 etc. 民有林を活用して栽培やもの作りを通じて山村の人々と交流の中で森林を育てることを知る。

山の日の制定を全国に広めて、今おかれている我が国の森林を見直し後世に立派な自然環境を残すために財政投資も行ってほしい(国へのお願いです・・・)。戦後植林された山は劣悪な環境の中でも日一日と大きく資源を増やしています。

山の守り手を育てる活動、町と山の交流を活発にして一人でも多くの人の目を山に向けるような活動。間伐等の補助金にしても窓口の森林組合が取りすぎである。30～50%も取られては現に山で仕事をしている者としては不満である。

山野草の写真撮影会、薬草調査。

山林等を指定し遊歩道的な施設等を設置し、市民、県民に山にもっと親しみやすい環境を。

材木が売れるように進めてほしい。

大阪から自然一杯の高知に来て意外だったのが山の情報の少なさ、皆「車でキャンプ」だからなのかハイキングなどの歩いて登る話をあまり聞かない、すぐ近くにあるのに。と驚きました。最近すこしずつ整備され始めたり本も出てるようですが・・・。「こうち山の日」いいですね。山林の作業と山の役割をもっと身近なものになるといい。また高知ではこんなに山と繋がっている、ということを県外にも発信していけたらと思います。

谷川や清流の活用。

外材の輸入を抑え日本材の必要度を高めれば山に活気が湧き自然と治山治水出来る。外材の輸入の制限がね・・・。

林業従事者より素人の方が人口が多いと思うので、まず皆が取り組めるような方法から始め、将来は高知県より全国へ山の日を発信させてほしい。

山を焼き、後にアカマツを植え松茸一大産地を築く。

こうち山の日スタンプラリーをして(山の日を最終日として1年間)記念品を出す。

私は海側であり詳しくないわかりません。これからの子供達に良い環境が残せるようどんな小さな事でもしていきたいですね。

家の近くの山の中腹に子供の頃は立派な滝が見えましたが山の木が生い茂って見えなくなって30年近く、再度滝が見えるように有志で廻りの木を伐りました。

林道、作業道、ダム等、山を守るためには必要であるが、このために犠牲となる動植物を移すことができる場所の確保。行政マンは貴重植物について学習できれば調査も必要と考える。

自然を大切にするという気持ちをみんなが持てるような日になって欲しいと思います。小さな山にも名前がある(と思う)のですが、まず、自分の住んでいる地域の山の名前を知りたいです。地元の間人ではないので全然知りません。名前を知ると愛着も興味もわくと思います。

本川村は、西条市からほんの数分で行けるすばらしい自然がいっぱいの場所でした。これからも西条市民に勧めていきたいです。

一口いくらか山を買っていますが、そのときはいろいろ産物等くれるということだったが何もありません。山の様子も解りませんがどうなっているでしょうね。

戦後植林した木も50年となり、地元木材を利用した住宅建築には補助するなど、低迷している経済に行政が手を入れなければ中山間(高知県)の活性化は望めない。息子達が都会に出て？、日本経済を支えているが、出身地の中山間は高齢化し山の保全ができなくなっている。このことは国の一局集中化にも問題があり国の責任でもある。

育林良好の場合表彰する。

漁業振興のためにも雑木林をもっと大切に。

どこを見ても植林ばかりですので、雑木林を多くする。

ボランティアなど作業に従事した人に、公共施設の無料利用券を配布したらどうでしょう。

山についてもっと県民に理解を持ってもらうように話し合いを持つことが大切だと思います。

「どんぐり銀行」のように子供達にも気安く木にかかわれ事業を盛り込んでほしい。山林労働者の生活保障のための補助金等の予算を組んでほしい。

各地の知られていない溪谷の探訪。

山は清潔に、環境的取り組みを、水が大切である。汚れるのが一番あぶない。

民有林の荒廃にストップをかけていただきたい。

山の守り手の育成、強化が必要だと思う。

山の中でクイズ(木の名前等、山にまつわる)ラリー。

木材輸入制限等により、木材価格の適正化必要。

自分の財産は自分で守るべき。小手先の施策は意味がない。

植林していない自然林の山を守っていく。

<p>少々ながら持ち山がありますが、手入れも充分出来ない状態です。補助金支給の制度を充実させてほしいです。</p>
<p>持ち山に行くに、イノシシなどに荒らされて道がなくなっているの、道の整備をしてくださるボランティアが必要。</p>
<p>スギ、ヒノキ以外の雑木を増やす。見通しの利く山道がだんだん少なくなり景色の良いところでも楽しみが少なくなりつつあります。観光開発にもそういうところで考え直す必要があると思います。</p>
<p>間伐をするための補助金が欲しい。</p>
<p>公共の森林は市の水瓶であり、林業、環境問題のみで考えず、多くの市民が生活用水として受益を受けている。水、河川から森林への理解を得られる取り組みをしてはどうか。</p>
<p>市内には標高1,000mを超えるような山は無いが景観の優れた山が多い。ただ、植林後放置されヤブになっていることが多く、ハイキングコースとしてもっと整備すると良いと思う。</p>
<p>なるべくスギ、ヒノキ等の植林をやめる。自然林にもどす。</p>
<p>年間を通じて花木のある山、一つ山に花木を群生させる。</p>
<p>各市町村からおすすめの山を募り、取材などをしPRしていく。またその山に登るスタンプラリーなどをしてみたら。</p>
<p>植林無料配布。</p>
<p>間伐ボランティアの活動により間伐展示林を多数設置する。</p>
<p>木の家を建てよう。</p>
<p>こうち山の日制定を記念して、植樹を考えている。</p>
<p>自分の山を持って関わっていきたい。「山」に関する名前の人に山に関係するものをあげる。</p>
<p>特に何もすることはないと思います。</p>
<p>好きな人が好きなようにやるのがベストじゃないでしょうか。</p>
<p>山の日パスポートを作る。富太郎サイン入り。一定期間中イベントに参加するたびにパスポートをもらえ、30枚たまったら人には山の土地をプレゼント。</p>
<p>マイナスイオンが流行っているの森林浴や家での木の観賞などが有効だと思う。</p>
<p>高価な木材を市民の目でみてもらう場を。</p>
<p>今若葉が美しい。しかしスギヒノキは黒ずんだ緑で山全体が暗い。一般県民が目に見えるかたちぐらいまで間伐、枝打ちをしなければならない。再生林の抑制も必要。現在でも山容に四季は訪れるが、一昔前ほど鮮明ではない。</p>